

写真図版



1 調査区北半全景（北から）



2 調査区南半全景（北から）

図版 2



1 第1号住居跡（南から）



5 第2号住居跡遺物出土状況



2 第1号住居跡遺物出土状況（1）



6 第2号住居跡床面検出状況



3 第1号住居跡遺物出土状況（2）



7 第2号住居跡床下土堀検出状況



4 第1号住居跡遺物出土状況（3）



8 第3号住居跡遠景



1 第3号住居跡全景



5 第3号土壙



2 第3号住居跡遺物出土状況



6 第5号土壙



3 第1号掘立柱建物跡全景



7 第5号土壙遺物出土状況



4 第2号土壙



8 第6号土壙



1 第1・2号井戸跡



5 第3・4・5号井戸跡



2 第1号井戸跡



6 第3号井戸跡



3 第1号井戸跡遺物出土状況



7 第5号井戸跡



4 第2号井戸跡



8 ビット33



1 第1·2·3号沟跡



3 第5·6号沟跡



2 第5·6·8号沟跡



4 第7·9号沟跡



1 第1号住居跡 (第9図1)



4 第1号住居跡 (第9図4)



2 第1号住居跡 (第9図2)



5 第1号住居跡 (第9図5・6)



3 第1号住居跡 (第9図3)



6 第1号住居跡 (第9図9)



1 第2号住居跡 (第11 図1)



6 第1号井戸跡 (第17 図1)



2 第2号住居跡 (第11 図2)



7 第1号溝跡 (第21 図1)



3 第2号住居跡 (第11 図8)



8 第1号溝跡 (第21 図2)



4 第3号住居跡 (第12 図1)



9 第5号溝跡 (第21 図12)



5 第5号土壇 (第15 図7)



10 第8号溝跡 (第21 図22)

報告書抄録

ふりがな	みなみはらせいせき
書名	南原遺跡
副書名	共同住宅建設事業予定地に係る埋蔵文化財発掘調査報告
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書
シリーズ番号	第396集
編著者名	赤熊 浩一
編集機関	公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4丁目4番地1 TEL0493-39-3955
発行年月日	西暦2012(平成24)年9月25日
所収遺跡	ふりがな 所在地 コード 市町村 遺跡番号 北緯 東経 調査期間 調査面積(m ²) 調査原因
みなみはらせいせき 南原遺跡 第10次	さいたまけんとし 埼玉県戸田市 みなみちよう 南町2279-1他 11224 002 35°48'19.059" 139°40'23.606" 20111001 ～ 20111130 671.20m ² 共同住宅 建設
所収遺跡	種別 主な時代 主な遺構 主な遺物 特記事項
南原遺跡 第10次	集落跡 古墳時代中期 平安時代 中世 壱六住居跡 1軒 土師器 壱六住居跡 2軒 土師器・須恵器・ ロクロ土師器 壱六住居跡 3基 溝跡 1条 掘立柱建物跡 1棟 かわらけ・陶器・ 磁器 土壇 3基 井戸跡 5基 溝跡 10条 ピット 66基
要約	
南原遺跡は、荒川左岸に形成された自然堤防上にあります。今回の調査では、古墳時代中期、平安時代、中世の遺構や遺物が検出されました。古墳時代中期では、住居跡の床面から高坏が6個体分まで出土しました。この時代の高坏は、供膳器として主体に使われていたことがわかります。また、平安時代では、カマドの設置された規模の小さな壱六住居跡が2軒、中世では、調査区中央を東西に走る溝跡が検出されました。この溝跡の南側には、掘立柱建物跡や井戸跡なども検出され、溝(堀)で囲まれた屋敷跡が存在した可能性があります。南原遺跡では、古墳時代から中世にかけて断続的に集落が形成されていたことが確認でき、古くから人々がこの地の利便さを知っていたことがわかります。	

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第396集

南原遺跡

共同住宅建設事業予定地に係る埋蔵文化財発掘調査報告

平成24年9月18日 印刷

平成24年9月25日 発行

発行／公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 熊谷市船木台4丁目4番地1

電話 0493(39)3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／朝日印刷工業株式会社